

近藤組

イラスト描いた 生徒に記念品 バスのラッピング広告で

近藤組(愛知県刈谷市、近藤純子社長)は、刈谷市公共施設連絡バス(東境線)のラッピング広告のイラストを描いた三好特別支援学校の生徒2人に記念品を贈った。26日に同校で贈呈式が行われ、近藤社長から生徒に手渡された。

同社と絵画や版画などのアートを通して障害者を支援する一般社団法人



アティックアート(豊田市、須藤伸枝代表理事)は、同校の協力を得て、高等部1年の水口凌さん、同2年の山下真里果さんが描いた鳥のイラストを採用した。2人は笑顔で

「採用してくれてありがとうございます」と、「これからも頑張ります」と、近藤社長にお礼の言葉を述べた。

また、木村豊校長から近藤社長と須藤代表理事に感謝状が贈られた。

ザインは、生徒2人とアティックアートに所属するアーティストのイラストを組み合わせて制作している。車体の左右側面と後部背面に掲載した東境線のバスは、2017年9月1日から運行している。